

## 第27回 日本サイコオンコロジー学会総会

---

教育講演1 《10月3日(金) 9:00~10:00》 第3会場(2F/瑞雲・平安)

座長: 高山 智子(国立がん研究センター がん対策情報センター がん情報提供研究部)

〔今、がん相談に求められる competency :  
知識・スキル・姿勢—ソーシャルワーカーの立場から—〕

演者: 田村 里子(一般社団法人WITH医療福祉実践研究所 がん・緩和ケア部)

---

教育講演2 《10月3日(金) 11:00~12:00》 第2会場(5F/小ホール)

座長: 高橋 都(国立がん研究センター がん対策情報センター がんサバイバーシップ支援研究部)

〔ASCOにおける患者参加プログラム報告〕

演者: 桜井なおみ(NPO法人HOPEプロジェクト)

---

教育講演3 《10月3日(金) 16:20~17:20》 第1会場(5F/大ホール)

座長: 秋月 伸哉(千葉県がんセンター 精神腫瘍科)

〔わが国におけるがんのピアサポート活動の現況と方向性〕

演者: 天野 慎介(一般社団法人グループ・ネクサス・ジャパン)

---

教育講演4 《10月4日(土) 13:25~14:25》 第1会場(5F/大ホール)

座長: 小川 朝生(国立がん研究センター東病院 精神腫瘍科/臨床開発センター 精神腫瘍学開発分野)

〔高齢者のがん診療〕

演者: 田村 和夫(福岡大学医学部 腫瘍・血液・感染症内科)

---

教育講演5 《10月4日(土) 14:35~15:35》 第1会場(5F/大ホール)

座長: 木下 寛也(国立がん研究センター東病院 緩和医療科)

共催: 公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

〔かかりつけ医の在宅医療 ~超高齢社会 私たちのミッション~〕

演者: 太田 秀樹(医療法人アスミス 理事長)

---

## 合同シンポジウム1 《10月4日(土) 10:10~12:10》 第1会場(5F/大ホール)

日本緩和医療学会との合同開催

司会：加藤 雅志(国立がんセンター がん対策情報センター がん医療支援研究部)  
池永 昌之(淀川キリスト教病院ホスピス・こどもホスピス病院 ホスピス科)

### 〔市民・患者・医療従事者へわれわれは何を普及啓発していくべきか〕

#### 合S1-1 患者に届く「こころのケア」に期待して

～自分らしくがんと向き合いたい、いのちと向き合いたい～

シンポジスト：緒方 真子(神奈川県立がんセンター患者会「コスモス」世話人代表)

#### 合S1-2 私たちは何を伝えるべきなのか？～オレンジバルーンプロジェクトの経験から

シンポジスト：池永 昌之(淀川キリスト教病院ホスピス・こどもホスピス病院 ホスピス科)

#### 合S1-3 意思決定支援としてのACP(アドバンス・ケア・プランニング)推進と

市民公開講座等による普及啓発

シンポジスト：大島 彰(国立病院機構 九州がんセンター サイコオンコロジー科)

#### 合S1-4 サイコオンコロジーとPublic Relations

シンポジスト：平井 啓(大阪大学 未来戦略機構 次世代研究型総合大学研究室)

---

## 合同シンポジウム2 《10月4日(土) 15:45~17:15》 第1会場(5F/大ホール)

日本在宅医学会との合同開催

共催：公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

司会：木下 寛也(国立がん研究センター東病院 緩和医療科)  
川越 正平(あおぞら診療所)

コメンテーター：富岡 里江(訪問看護ステーションはーと)  
宮崎 真吾(はまかぜ診療所)

### 〔在宅医療におけるサイコオンコロジーとの連携を考える〕

#### 合S2-1 在宅療養において痛みとしぶれの評価およびコントロールに難渋した平滑筋肉腫の一症例

症例提示者：松本 禎久(国立がん研究センター東病院 緩和医療科)

#### 合S2-2 サイコオンコロジーに期待すること

シンポジスト：北田 志郎(自治医科大学 看護学部/あおぞら診療所)

---

## 合同シンポジウム3 《10月4日(土) 15:05~16:35》 第3会場(2F/瑞雲・平安)

日本臨床腫瘍学会との合同開催

司会：柴田 和彦(厚生連高岡病院 腫瘍内科)

所 昭宏(国立病院機構近畿中央胸部疾患センター 心療内科/支持・緩和療法チーム)

### 〔がん患者指導管理の充実と精神腫瘍学的サポート〕

#### 合S3-1 腫瘍内科の診察室でがん患者と向き合って

シンポジスト：高野 利実(虎の門病院 臨床腫瘍科/  
東京医科歯科大学大学院 心療・緩和医療学分野)

#### 合S3-2 がん診療拠点病院の精神腫瘍医の立場より取り組み、課題について

シンポジスト：小室龍太郎(国立病院機構金沢医療センター 精神科・緩和ケアチーム)

#### 合S3-3 がん診療拠点病院でがん患者指導加算の実務に携わるPCT看護師の立場より現状と課題について

シンポジスト：村口さつき(国立病院機構大阪南医療センター 緩和ケア推進室)

#### 合S3-4 薬剤師によるがん患者指導管理料3の取り組みについて

シンポジスト：小林 勝昭(国立病院機構近畿中央胸部疾患センター 薬剤科)

---

## シンポジウム1 《10月3日(金) 8:30~10:00》 第1会場(5F/大ホール)

司会：平井 啓(大阪大学 大型教育研究プロジェクト支援室)

塩崎麻里子(近畿大学 総合社会学部)

### 〔サイコオンコロジーとPublic health〕

#### S1-1 がん予防・検診受診率向上に対する行動科学的アプローチとその実践の紹介

シンポジスト：山本精一郎/溝田 友里(国立がん研究センター 保健政策研究部)

#### S1-2 がん検診の受診率向上研究に関する国際的な潮流について

シンポジスト：石川 善樹(東京大学大学院医学系研究科/株式会社キャンサーキャン)

#### S1-3 がん予防のための身体活動・座位行動研究の潮流

シンポジスト：岡 浩一朗(早稲田大学 スポーツ科学学術院)

---

## シンポジウム2 《10月3日（金）8:30～10:00》 第4会場（2F／福寿・桃源）

司会：大西 秀樹（埼玉医科大学国際医療センター 精神腫瘍科）  
大谷 弘行（九州がんセンター 緩和治療科）

### 〔終末期の問題（がん治療の発展の現状と医療者自身の苦悩）〕

#### S2-1 亡くなる直前まで治療ができる現状と医療者自身が苦悩に感じること

シンポジスト：遠山 啓亮（三枚橋病院）

#### S2-2 患者家族の闘病の現状と医療者自身が苦悩に感じること

シンポジスト：林 暁子（藤沢湘南台病院 看護部）

#### S2-3 心理士からみた抗がん剤の中止における患者と医療者の苦悩の構造

シンポジスト：石田 真弓（埼玉医科大学国際医療センター 精神腫瘍科）

---

## シンポジウム3 《10月3日（金）8:30～10:00》 第5会場（1F／展示ホール1）

司会：清水 研（国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科）  
安藤 満代（聖マリア学院大学 看護学部）

### 〔病は人を成長させるのか？ ～心的外傷後成長(PTG)の研究と実体験～〕

#### S3-1 日本人のがん体験者における外傷後成長（Posttraumatic Growth）

シンポジスト：清水 研（国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科）

#### S3-2 乳がん患者の心的外傷後成長（PTG）の関連要因に関する研究

シンポジスト：富田真紀子（国立がん研究センター がん対策情報センター  
がんサバイバーシップ支援研究部）

#### S3-3 困難に立ち向かう人を支援する際の基本姿勢 ～PTG研究と臨床研究から

シンポジスト：松原 芽衣（元心理士）

#### S3-4 がん体験から得たもの

シンポジスト：上野 創（朝日新聞社 長野総局）



---

## シンポジウム4 《10月3日（金）10:10～11:40》 第1会場（5F／大ホール）

司会：松島 英介（東京医科歯科大学大学院 心療・緩和医療学分野）  
木澤 義之（神戸大学大学院医学研究科 先端緩和医療学分野）

### 〔精神腫瘍医がいないところで、こころのケアをどうするか！〕

#### S4-1 精神腫瘍医が少ない東北地方で緩和ケア医に求められる心のケア

シンポジスト：奥山慎一郎（山形大学医学部附属病院 疼痛緩和医療部）

#### S4-2 地域に飛び出せ！? 精神腫瘍医 ～訪問看護、専門看護師の立場から

シンポジスト：宇野さつき（医療法人社団 新国内科医院 看護部）

#### S4-3 精神科医の院外コンサルテーションおよびアウトリーチシステムの確立に向けて

シンポジスト：上村 恵一（市立札幌病院 精神医療センター）

#### S4-4 日本サイコオンコロジー学会および大学医学部講座の立場から、対策・解決策を考える

シンポジスト：明智 龍男（名古屋市立大学 大学院医学研究科  
精神・認知・行動医学研究分野）

---

## シンポジウム5 《10月3日（金）10:10～11:40》 第3会場（2F／瑞雲・平安）

司会：高山 智子（国立がん研究センター がん対策情報センター がん情報提供研究部）  
石川 睦弓（静岡県立静岡がんセンター研究所 患者・家族支援研究部）

### 〔がん相談員に求められる3つの『力』〕

#### S5-1 がん相談員に求められる『力』—アセスメントの力—

シンポジスト：橘 直子（総合病院山口赤十字病院 医療社会事業部 地域医療推進課）

#### S5-2 がん相談員に求められる "調整力"

シンポジスト：横川史穂子（公益財団法人長野市民病院 がん相談支援センター）

#### S5-3 がん相談員に求められる研究（分析）の力

シンポジスト：高山 智子（国立がん研究センター がん対策情報センター  
がん情報提供研究部）

---

## シンポジウム6 《10月3日（金）14:10～15:40》 第2会場（5F／小ホール）

司会：秋月 伸哉（千葉県がんセンター 精神腫瘍科）

高橋 都（国立がん研究センター がん対策情報センター がんサバイバーシップ支援研究部）

### 〔ピアサポートのさまざまな形と特色を考える〕

#### S6-1 ピアサポートのさまざまな形と特色を考える

シンポジスト：伊藤 朋子（声を聴き合う患者たち&ネットワーク「VOL-Net」）

#### S6-2 千葉県がんピア・サポート事業 「ピア・サポーターズサロンちば」の紹介

シンポジスト：野田真由美（千葉県がんセンター 心と体総合支援センター  
（がん相談支援センター））

#### S6-3 熊本県におけるがんサロンとネットワークの活動

シンポジスト：堀田めぐみ（がんサロンネットワーク熊本）

#### S6-4 若年のがん患者によるコミュニティ形成とピアサポートの事例

シンポジスト：福田 康介（若年性がん患者団体 STAND UP!!）

---

## シンポジウム7 《10月3日（金）14:10～15:40》 第3会場（2F／瑞雲・平安）

司会：栗原 美穂（国立がん研究センター東病院 看護部）

松本 禎久（国立がん研究センター東病院 緩和医療科）

### 〔チーム医療の盲点に挑む！！〕

#### S7-1 チーム医療の盲点に挑む！！

シンポジスト：小林 直子（国立がん研究センター東病院 看護部）

#### S7-2 チーム医療の盲点に挑む ～周術期患者管理チームの挑戦～

シンポジスト：松橋 久恵（国立がん研究センター東病院 看護部）

#### S7-3 チーム医療の盲点に挑む

シンポジスト：上杉 英生（国立がん研究センター東病院 看護部）

#### S7-4 がんリハビリテーションの実際と課題

シンポジスト：上野 順也（国立がん研究センター東病院  
骨軟部腫瘍・リハビリテーション科）

---

## シンポジウム8 《10月3日（金）14:10～15:40》 第4会場（2F／福寿・桃源）

司会：加藤 雅志（国立がん研究センター がん対策情報センター がん医療支援研究部）  
上村 恵一（市立札幌病院 精神医療センター）

### 〔新たながん診療体制で求められるサイコオネコロジストの役割と 具体的活動のための第一歩 ～平成26年から開始された新たな がん診療連携拠点病院制度を踏まえて～〕

#### S8-1 がん患者における精神症状のスクリーニング

シンポジスト：中原 理佳（国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科）

#### S8-2 看護師が行う精神心理的ケアに対する院内教育について

シンポジスト：岡山 幸子（宝塚市立病院 緩和ケア病棟）

#### S8-3 院内での精神腫瘍医へのアクセスの工夫、他診療科や他職種との連携の工夫について

シンポジスト：小室龍太郎（国立病院機構金沢医療センター 精神科・緩和ケアチーム）

#### S8-4 地域連携において精神腫瘍医に期待される役割：ネットワーク体制構築の試み

シンポジスト：田中 輝明（北海道大学病院 精神科神経科）

---

## シンポジウム9 《10月4日（土）8:30～10:00》 第1会場（5F／大ホール）

司会：小早川 誠（広島大学病院 精神科・緩和ケアチーム室）  
小山富美子（近畿大学医学部附属病院 看護部）

### 〔緩和ケアチーム活動の困難と工夫 ～チーム活動の悩みを語ろう～〕

#### S9-1 緩和ケアチーム活動の困難と工夫 –チーム活動の悩みを語ろう–

シンポジスト：中村喜美子（三重大学医学部附属病院 看護部）

#### S9-2 自己実現とチーム医療の発展の両立を目指して

シンポジスト：平 俊浩（福山市民病院 精神科・精神腫瘍科）

#### S9-3 緩和ケアチームにおける非常勤臨床心理士の役割

シンポジスト：二宮ひとみ（獨協医科大学 麻酔科学講座）

#### S9-4 緩和ケアチームをコーディネートする –薬剤師業務を中心に–

シンポジスト：小枝 伸行（八尾市立病院 事務局企画運営課）

---

## シンポジウム10 《10月4日(土) 9:00~10:30》 第2会場(5F/小ホール)

司会：福井小紀子(日本赤十字看護大学 地域看護学分野)  
小笠原利枝(横浜市立みなと赤十字病院 緩和ケアチーム)

### 〔せん妄や認知症を抱えるがん終末期患者の退院支援・地域連携〕

- S10-1** 地域包括ケア推進策とがん対策からみた退院支援・地域連携のあり方～看護師への役割期待～  
シンポジスト：福井小紀子(日本赤十字看護大学 地域看護学分野)
- S10-2** がん相談部門における院内・院外連携  
シンポジスト：奥出有香子(順天堂大学医学部附属順天堂医院 患者・看護相談室)
- S10-3** 緩和ケアチームと退院支援部門(ソーシャルワーカー)との連携・調整  
シンポジスト：高仲 雅子(日本医科大学多摩永山病院 緩和ケアチーム)
- S10-4** 退院支援部門(地域連携室)と地域との連携・調整  
シンポジスト：鈴木 樹美(東京大学医学部附属病院 看護部/地域医療連携部)
- S10-5** 癌末期の方が退院して在宅療養をするということ  
シンポジスト：河村 朋子(磯子区医師会訪問看護ステーション)

---

## シンポジウム11 《10月4日(土) 8:30~10:00》 第3会場(2F/瑞雲・平安)

司会：木下 寛也(国立がん研究センター東病院 緩和医療科)  
遠藤 公久(日本赤十字看護大学/NPO法人がんサポートコミュニティ)

### 〔プロフェッショナルサポートとピアサポートとの連携〕

- S11-1** シンポジスト：加藤 力也(NPO法人ふれいす東京)
- S11-2** シンポジスト：山岡 鉄也(日経BP社)
- S11-3** シンポジスト：栗原 幸江(がん・感染症センター都立駒込病院 緩和ケア科)
- S11-4** シンポジスト：大松 重宏(兵庫医科大学 社会福祉学研究室)

---

## シンポジウム12 《10月4日(土) 8:30~10:00》 第4会場(2F/福寿・桃源)

司会：木澤 義之(神戸大学大学院医学研究科 先端緩和医療学分野)  
竹之内沙弥香(京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻)

### 〔意思決定支援について考える〕

- S12-1** がん患者の意思決定支援—専門的緩和ケアの立場から  
シンポジスト：木澤 義之(神戸大学大学院医学研究科 先端緩和医療学分野)
- S12-2** 悪い知らせを伝え意思決定する支援における課題  
シンポジスト：寺町 芳子(大分大学医学部 看護学科)
- S12-3** がん患者の意思決定支援：オンコロジーの立場から  
シンポジスト：清水千佳子(国立がん研究センター中央病院 乳腺・腫瘍内科)
- S12-4** 医療倫理の立場から意思決定支援について考える  
シンポジスト：瀧本 禎之(東京大学医学部附属病院 心療内科/患者相談・臨床倫理センター)

---

## シンポジウム 13 《10月4日（土）10:40～12:10》 第2会場（5F / 小ホール）

司会：河野佐代子（慶應義塾大学病院 看護部）

松岡 弘道（近畿大学医学部附属病院 がんセンター 緩和ケア室）

### 〔対応の難しい患者との関わり方〕

#### S13-1 対応の難しい患者との関わり方 ～否認～

シンポジスト：船橋 英樹（宮崎大学医学部附属病院 精神医学講座）

#### S13-2 怒りを表出した家族と、表出された治療者

シンポジスト：松田 能宣（国立病院機構近畿中央胸部疾患センター  
心療内科/支持・緩和療法チーム）

#### S13-3 「死にたい」と訴える患者と家族のケアについて考える

シンポジスト：伊豆原知恵（奈良県立医科大学附属病院 緩和ケアセンター）

#### S13-4 「絶対に転院したくない」という患者への対応

シンポジスト：久村 和穂（金沢医科大学 腫瘍内科学 / 金沢医科大学病院  
集学的がん治療センター）

---

## シンポジウム 14 《10月4日（土）10:40～12:10》 第3会場（2F / 瑞雲・平安）

司会：小川 弘美（国立国際医療研究センター病院 看護部）

小川 朝生（国立がん研究センター東病院 精神腫瘍科/臨床開発センター 精神腫瘍学開発分野）

### 〔高齢がん患者の治療・ケアの最前線〕

#### S14-1 高齢がんリスク評価と意思決定支援の取組み（がん薬物療法の視点）

シンポジスト：長島 文夫（杏林大学医学部 内科学腫瘍内科）

#### S14-2 高齢者癌に対する高齢者総合機能評価を用いた外科治療指針再考の提案

シンポジスト：海堀 昌樹（関西医科大学 外科）

#### S14-3 高齢者大腸癌患者に対する臨床試験（JCOG1018試験）を開始してわかりつつあること

シンポジスト：濱口 哲弥（国立がん研究センター中央病院 消化管内科）

#### S14-4 急性期病院における認知症ケアの現状と今、求められていることー看護の立場から

シンポジスト：金子真理子（東京女子医科大学 看護学部）

---

## シンポジウム 15 《10月4日（土）13:25～14:55》 第2会場（5F / 小ホール）

司会：奥山 徹（名古屋市立大学病院 緩和ケア部）  
清水 研（国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科）

### 〔新たながん診療提供体制において求められるがん患者のうつ病マネジメント〕

#### S15-1 がん患者におけるうつ病のスクリーニング

シンポジスト：清水 研（国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科）

#### S15-2 看護師によるがんと抑うつを合併するケースのマネジメント

シンポジスト：馬場華奈己（岡山大学病院 看護部）

#### S15-3 がんに関する専門性を有する看護師を対象とした精神心理的苦痛に関する教育プログラム

シンポジスト：久保田陽介（名古屋市立大学大学院 医学研究科 精神認知行動医学分野）

#### S15-4 入院患者の自殺予防対策とスタッフ・ケア

シンポジスト：河西 千秋（横浜市立大学医学群 健康増進科学（精神保健学））

---

## シンポジウム 16 《10月4日（土）13:25～14:55》 第3会場（2F / 瑞雲・平安）

司会：加藤 雅志（国立がん研究センター がん対策情報センター がん医療支援研究部）  
福地 智巴（静岡県立静岡がんセンター よろず相談）

### 〔生活者の視点から捉える患者・家族の苦悩とその支援 ～社会的存在への揺らぎをどう受け止め、どう支えるか～〕

#### S16-1 生活者の視点から捉える患者・家族の苦悩とその支援 ～MSWの立場から～

シンポジスト：鈴木 幸一（公益財団法人ときわ会常磐病院 社会支援課）

#### S16-2 「育て鍛える」という、支援者役割 – 「働く人」という視野から見えてくるもの–

シンポジスト：白波瀬丈一郎（慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室）

#### S16-3 がん患者が「生活者」であるゆえに生まれる苦悩とその支援：腫瘍内科医の立場から

シンポジスト：堀之内秀仁（国立がん研究センター中央病院 呼吸器内科）

#### S16-4 生活者の視点から捉える患者・家族の苦悩とその支援

シンポジスト：横川史穂子（公益財団法人長野市民病院 がん相談支援センター）

---

**事例検討1** 《10月3日（金）10:10～12:10》 第4会場（2F／福寿・桃源）  
司会：小山 敦子（近畿大学医学部 内科学 腫瘍内科部門 心療内科分野）  
柏木雄次郎（関西福祉科学大学 社会福祉学部 臨床心理学科）

〔緩和ケアチームコンサルテーションで苦慮した事例〕

**事例検討1-1** チームによる全人的ケアが必要であった50歳代男性直腸癌の1例

事例提供者：梶山 徹（関西電力病院 緩和医療科）  
垣見 亮（関西電力病院 心療内科）  
コメンテーター：江村 成就（大阪鉄道病院 精神神経科）  
高見 陽子（市立岸和田市民病院 看護局）  
坂田 尚子（東京大学医学部附属病院 緩和ケア診療部）

---

**事例検討2** 《10月4日（土）10:10～12:10》 第4会場（2F／福寿・桃源）  
司会：山田 祐（埼玉県立がんセンター 精神腫瘍科）

〔遷延する精神症状を抱えたがん患者の看護や地域連携する上での問題点や工夫〕

**事例検討2-1** 転院までに半年以上かかった大腸がん術後に脳梗塞を再発した一例

演者：田嶋 千彩（埼玉県立がんセンター 看護部）

**事例検討2-2** 意思疎通困難な終末期がん患者の療養場所の選択における問題

演者：坂本 節子（九州大学病院 がんセンターがん相談支援室）

**事例検討2-3** 外来主治医としか信頼関係を築こうとしなかったがん患者に対するチームアプローチのあり方

演者：鶴崎まり子（福岡大学病院 腫瘍センター）

---

**事例検討3** 《10月4日（土）13:25～14:55》 第4会場（2F／福寿・桃源）  
司会：林 糸り子（藤沢湘南台病院 看護部）  
大谷 弘行（九州がんセンター 緩和治療科）

〔終末期におけるこころの問題 ―症例から考える―〕

**事例検討3-1** 終末期におけるこころの問題（症例から考える）

演者：石田 真弓（埼玉医科大学国際医療センター 精神腫瘍科）

**事例検討3-2** 患者の病状理解が不十分で、周囲が振り回され難渋した一症例

演者：四宮 敏章（奈良県立医科大学附属病院 緩和ケアセンター）

**事例検討3-3** 終末期におけるこころの問題―症例から考える―

演者：高橋 孝郎（埼玉医科大学国際医療センター 緩和医療科）



---

事例検討4 《10月4日(土) 15:05~16:35》 第4会場(2F/福寿・桃源)

司会: 近藤まゆみ(北里大学病院 患者支援センター)

加藤 雅志(国立がん研究センター がん対策情報センター がん医療支援研究部)

〔家族ケア・遺族ケア  
～家族や遺族への多職種によるアプローチの実践方法の検討～〕

事例検討4-1 家族ケア・遺族ケアー家族や遺族への多職種によるアプローチの実践方法の検討ー

症例提示: 吉田 沙蘭(国立がん研究センターがん対策情報センターがん医療支援研究部)

ディスカッサント: 風間 郁子(筑波大学附属病院 看護部 緩和ケアセンター)

橘 直子(総合病院 山口赤十字病院 医療社会事業課)

石田 真弓(埼玉医科大学国際医療センター 精神腫瘍科)

---

ワークショップ1 《10月3日(金) 10:10~11:40》 第5会場(1F/展示ホール1)

座長: 平井 啓(大阪大学 未来戦略機構 次世代研究型総合大学研究室)

〔チーム医療で働く心理士を育てる!～病院側・大学院生・大学教員の立場から～〕

WS1-1 チーム医療で働く心理士を育てる: 大学教員の立場から

演者: 鈴木 伸一(早稲田大学人間科学学術院 臨床心理学研究領域)

WS1-2 臨床心理系大学院生に向けたチーム医療での実習(実習提供側: 病院心理士)

演者: 古賀 晴美(千葉県がんセンター 精神腫瘍科)

WS1-3 チーム医療の実習を通して実習生が学んだこと

演者: 小川 祐子/長谷川由美(早稲田大学大学院 人間科学研究科)

---

ワークショップ2 《10月3日(金) 14:10~16:40》 第5会場(1F/展示ホール1)

座長: 堂谷知香子(国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科)

〔がん領域で働く若手心理士の必須知識 ～ここが違うよ、がん患者～〕

WS2-1 がん患者と非がん患者の違いーがん患者への心理支援の困難や可能性に関してー

演者: 富岡 直(三井記念病院 精神科)

WS2-2 心理士に必要な医学的知識

演者: 石田 真弓(埼玉医科大学国際医療センター 精神腫瘍科)

WS2-3 がん領域で働く若手心理士の必須知識 ～ここが違うよ、がん患者～

演者: 大西 秀樹(埼玉医科大学国際医療センター 精神腫瘍科)

WS2-4 がん医療における心理アセスメントと介入の実際

演者: 満田 大(三井記念病院 精神科)



---

ワークショップ3 《10月3日（金）17:30～18:30》 第1会場（5F／大ホール）

座長：井上真一郎（岡山大学病院 精神科神経科）

## 〔せん妄への多職種介入プログラムの紹介～せん妄の基礎と初期対応〕

WS3-1

演者：佐々木千幸（国立がん研究センター東病院 看護部）

演者：比嘉 謙介（国立がん研究センター東病院 精神腫瘍科）

---

【事前申込制】

ワークショップ4 《10月4日（土）13:30～15:00》 第5会場（1F／展示ホール1）

司会：海津未希子（東京大学医学部附属病院）

## 〔がん患者指導管理料2算定の実施に向けての戦略検討〕

WS4-1

ファシリテーター：山口 聖子（行徳総合病院）

小笠原利枝（横浜市立みなと赤十字病院）

堀 孔美恵（東邦大学医療センター大橋病院）

伊藤 郁美（東邦大学医療センター大橋病院）

祖父江由紀子（東邦大学医療センター大森病院）

---

ラウンドテーブルディスカッション 《10月3日（金）14:10～16:10》 第1会場（5F／大ホール）

ファシリテーター：小川 朝生（国立がん研究センター東病院 精神腫瘍科／臨床開発センター 精神腫瘍学開発分野）

平井 啓（大阪大学 未来戦略機構 次世代研究型総合大学研究室）

## 〔サイコオンコロジー、リ・イノベーション ーサイコオンコロジーと社会との新しい関わりー〕

○診断時からの緩和ケアとは？

池永 昌之（特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 委託事業委員会  
緩和ケア普及啓発WPG副員長）

RT1-1

パネリスト：天野 慎介（一般社団法人グループ・ネクサス・ジャパン）

桜井なおみ（NPO法人HOPEプロジェクト）

勝俣 範之（日本医科大学武蔵小杉病院 腫瘍内科）

江副 聡（厚生労働省健康局がん対策・健康増進課）

松島 英介（東京医科歯科大学大学院 心療・緩和医療学分野）

共催：特定非営利活動法人 日本緩和医療学会  
（厚生労働省委託事業オレンジバルーンプロジェクト）

---

ランチオンセミナー1 《10月3日（金）12:20～13:20》 第3会場（2F／瑞雲・平安）  
座長：清水 研（国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科）

〔気持ちのつらさの対策をがん医療現場に伝える～PEACE PROJECT～〕

演者：秋月 伸哉（千葉県がんセンター 精神腫瘍科）

共催：持田製薬株式会社

---

ランチオンセミナー2 《10月3日（金）12:20～13:20》 第4会場（2F／福寿・桃源）  
座長：松島 英介（東京医科歯科大学大学院 心療・緩和医療学分野）

〔うつ病と不眠〕

演者：内山 真（日本大学医学部 精神医学系）

共催：MSD株式会社

---

ランチオンセミナー3 《10月4日（土）12:20～13:20》 第3会場（2F／瑞雲・平安）  
座長：久住 一郎（北海道大学大学院医学研究科 精神医学分野）

〔がん診断時からの不眠に関する緩和ケア〕

演者：上村 恵一（市立札幌病院 精神科）

共催：エーザイ株式会社

---

【有料・会員対象】

ミート・ザ・エキスパート –ランチセッション–

《10月4日（土）12:20～13:10》 ランチセッション会場（2F／蓬莱）

〔Meet the Expert ～自分たちのケア、どうしていますか？～〕

エキスパート：松島 英介（理事長・東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 心療・緩和医療学分野 教授）  
大西 秀樹（理事・埼玉医科大学国際医療センター 精神腫瘍科 教授）  
内富 庸介（理事・岡山大学大学院医歯学総合研究科 精神神経病態学教室 教授）  
明智 龍男（理事・名古屋市立大学大学院医学研究科 精神・認知・行動医学分野 教授）  
ファシリテーター：石田 真弓（埼玉医科大学国際医療センター 精神腫瘍科）

---

【事前申込制・有料】

「がん医療で使える心理療法のエッセンス」研修会

《10月4日（土）13:30～16:10》

司会：小早川 誠（広島大学病院 精神科・緩和ケアチーム）  
岩満 優美（北里大学大学院 医療系研究科医療心理学）  
講師：白石 恵子（九州がんセンター サイコオンコロジー科・緩和ケアチーム）  
平井 啓（大阪大学未来戦略機構）

ファシリテーター：小早川 誠（広島大学病院 精神科・緩和ケアチーム）  
岡崎 賀美（東大和病院 がん相談支援センター）  
尾形 明子（広島大学大学院 教育学研究科 心理学講座）  
岩満 優美（北里大学大学院 医療系研究科 医療心理学）

---

一般口演 1 《10月3日（金）8:30～10:50》 第2会場（5F／小ホール）

座長：大島 彰（国立病院機構 九州がんセンター サイコオンコロジー科）  
吉内 一浩（東京大学大学院医学系研究科 ストレス防御・心身医学）  
小早川 誠（広島大学病院 精神科・緩和ケアチーム室）

01-1 うれしい患者さんの「卒業します」宣言～支えられる側から支える側へ～

国立病院機構東京医療センター 緩和ケア内科 大中 俊宏

01-2 がん患者・家族がピアサポートを受けられる機会の実態

首都大学東京 健康福祉学部 看護学科 福井 里美

01-3 がん患者である親とその子ども（1）子のQOLと心的外傷後ストレス症状の検討

聖路加国際病院 小児科 小澤 美和

01-4 がん患者である親とその子ども（2）子どものQOLに対する親子間の評価差の検討

早稲田大学大学院 人間科学研究科 小川 祐子

01-5 乳がん患者の再発時におけるストレス・コーピングと個人的要因

岸和田徳洲会病院 黒田 博美

- 
- O1-6** 傾聴・反復で本当に共感が伝わるのか？～がん患者とのコミュニケーションにおける私なりの心得～  
岡谷市病院事業 岡谷塩嶺病院 緩和ケア病棟 金子 和彦
- O1-7** ユマニチュードとディヌ・リパッティの演奏するショパンが取り戻した終末期がん患者の言葉と笑顔  
国立病院機構東京医療センター 緩和ケア内科 大中 俊宏
- O1-8** 患者とのメール交換を通して、どこまで安全に患者の気持ちに寄り添えるか  
国立病院機構東京医療センター 緩和ケア内科 大中 俊宏
- O1-9** 日本がん・生殖医療研究会（JSFP）カウンセリング小委員会の活動  
東京慈恵会医科大学産婦人科 杉本 公平
- O1-10** 緩和ケアチームの介入が、がん患者家族の精神科受診につながった症例  
徳島大学病院 精神科神経科/徳島県立中央病院 精神科 多田 幸雄
- O1-11** 緩和ケアチームの精神科医が一般病棟での看取りを支えるためにできること  
四国がんセンター 緩和ケア内科・精神腫瘍科・精神腫瘍研究室 落合 優美
- O1-12** 緩和ケアチーム介入時のコミュニケーションの工夫 第1報～関係性は自らの意識の志向性  
によって規定される～  
三重大学医学部附属病院 緩和ケアセンター 緩和ケアチーム 松原 貴子
- O1-13** 緩和ケアチーム介入時のコミュニケーションの工夫 第2報～支持的な関係性の成立は依頼を  
深くし明確化する～  
三重大学医学部附属病院 緩和ケアセンター 緩和ケアチーム 松原 貴子
- O1-14** 個別化治療の時代における肺癌診療での意思決定における主治医としての葛藤  
大阪医科大学附属病院 呼吸器内科 中村 敬彦
- 

**一般口演2** 《10月3日（金）15:50～18:30》 第2会場（5F/小ホール）

座長：所 昭宏（国立病院機構近畿中央胸部疾患センター 心療内科/支持・緩和療法チーム）

四宮 敏章（奈良県立医科大学附属病院 緩和ケアセンター）

瀧本 禎之（東京大学医学部附属病院 心療内科/患者相談・臨床倫理センター）

- O2-1** 転移・再発腎がん患者への症状緩和支援システムの構築にむけて  
上尾中央総合病院 看護部 外来看護科 村松 真実
- O2-2** 緩和ケア病棟のパストラルケア  
岡山協立病院 診療部 疼痛治療科 武田 明
- O2-3** 造血器腫瘍領域における精神的ケアに視点をおいたチーム医療 ～リエゾン精神看護専門看護師  
の役割～  
大阪医科大学附属病院 看護部 宮田 郁
- O2-4** 進行がん患者の看護過程をデスカンファレンスで振り返り得られる看護師の学び  
旭川医科大学病院 看護部 清水 優

- O2-5** 認知症患者のがん治療の現状と予後 -認知症に罹患してないがん患者との症例対照研究-  
市立札幌病院 精神医療センター 菊地未紗子
- O2-6** 衝動行為に及んだ知的障害・広汎性発達障害を有するがん患者家族への意思決定支援  
北見赤十字病院 緩和ケア内科 西本 武史
- O2-7** 術後6ヶ月前後における乳がん患者の心理的苦痛とコーピングについて  
北里大学大学院 医療系研究科 医療心理学 中谷 有希
- O2-8** がん再発恐怖に対してAcceptance and Commitment Therapy(ACT)を導入した胆嚢管がんの一例  
北海道大学病院 診療支援部/精神科神経科 成田 学
- O2-9** 緩和ケア外来における精神分析的療法について  
市立甲府病院 緩和ケア内科 緩和ケアチーム 小林 薫
- O2-10** がん終末期を「森田的」に過ごす～あたかも正岡子規のごとく～  
国立病院機構東京医療センター 緩和ケア内科 大中 俊宏
- O2-11** 短期間のマインドフルネス呼吸トレーニングの導入により不安発作が消失した終末期がん患者の症例  
滋賀医科大学腫瘍センター 森田 幸代
- O2-12** 癌患者の支援及び心理的サポートを考える  
健和会大手町病院 医療相談医療福祉連携部 医療社会科 森川 尚子
- O2-13** 患者が最初から緩和ケアを選択するとき—腫瘍内科医の役割  
宮城県立がんセンター 腫瘍内科 村川 康子
- O2-14** 小児がん患児とのEnd-of-Life discussion ～小児科医はどう捉えているのか?～  
国立がん研究センターがん対策情報センター がん医療支援研究部/国立がん研究センター中央病院  
精神腫瘍科 吉田 沙蘭
- O2-15** 地域における遺族ケアの取り組み(1)－遺族会「ハナミズキの会」における臨床心理士の役割と課題－  
医療法人平和会 平和病院 緩和ケア病棟/東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 博士課程医歯学系専攻  
全人的医療開発学心療・緩和医療学分野 天野可奈子
- O2-16** 死別反応に抗うつ剤は必要か  
西神戸医療センター 精神・神経科 大谷 恭平

---

**一般口演3** 《10月3日(金) 15:50～18:30》 第3会場(2F/瑞雲・平安)

座長：木下 寛也(国立がん研究センター東病院 緩和医療科)  
谷向 仁(大阪大学医学部附属病院 オンコロジーセンター)  
松岡 弘道(近畿大学医学部附属病院 がんセンター 緩和ケア室)

- O3-1** がん患者にみられるせん妄に対する新たな薬物療法アルゴリズム作成に関する検討  
大阪大学医学部附属病院 オンコロジーセンター 谷向 仁

- 03-2 せん妄患者に対するステップ的薬物療法—特にハロペリドールとクロルプロマジンを組み合わせた対応—  
安城更生病院 緩和ケア内科 李 振雨
- 03-3 当院におけるDELTA PROGRAMの導入と精神腫瘍科の役割と展望について  
熊本赤十字病院 精神腫瘍科 齊藤絵里可
- 03-4 内科医による非専門医・コメディカルのためのせん妄診断・治療・ケア  
りんくう総合医療センター 内科、緩和ケアチーム 清水 勇雄
- 03-5 うつ病のがん患者を対象としたmirtazapineの多施設前向き観察研究  
北海道大学病院 精神科神経科 田中 輝明
- 03-6 CO2ナルコーシスに陥り、救命センターに搬送された終末期肺癌の1例—言葉を交わさずに行った緩和ケア—  
いわき市立総合磐城共立病院 心療内科 岩橋 成寿
- 03-7 当院緩和ケア病棟における統合失調症症例の検討  
札幌清田病院 緩和ケア病棟 井上八千代
- 03-8 知的障害を有する高齢胃癌患者の経験～認知症高齢者とのケアの相違点～  
医療法人社団誠和会 藤木病院 松原 恵一
- 03-9 "障害者" で "がん患者" になるということ ～聴覚障害をもつAさんの場合～  
国立病院機構 近畿中央胸部疾患センター 支持・緩和療法チーム 小杉 孝子
- 03-10 情緒的に破綻している家族の意思決定支援  
市立千歳市民病院 看護部・緩和ケアチーム 川嶋 麻有
- 03-11 抑うつを伴う乳がん患者に対し認知行動療法が奏功し復職に至った2例  
NTT西日本大阪病院 精神科・心療内科 梅田寿美代
- 03-12 心身の症状緩和に苦慮した症例について  
白根大通病院 ホスピス 長谷川 聡
- 03-13 心理的疼痛が強く疼痛コントロールに難渋している手術不能進行乳癌の1症例  
ベルランド総合病院 乳腺センター 山崎 圭一
- 03-14 母親との死別体験を想起し化学療法前の人工肛門造設に難色を示した患者とのempty chair技法を用いた面接  
三重大学医学部附属病院 医療福祉支援センター/同 緩和ケアチーム 中西 健二
- 03-15 妻への心理サポートが癌患者に精神的安定をもたらした一例～緩和ケアチームの介入が困難な症例～  
東邦大学医療センター大森病院 心療内科 稲垣理佐子
- 03-16 精神科医久保田亮先生の最後の1ヶ月～「My Carte (マイカルテ)」と、ともに過ごした時間から感じること～  
大津市民病院 緩和ケア科 精神・心療内科 津田 真



- P1** 学病院の緩和ケアチームにおける臨床心理士の役割  
東京慈恵会医科大学附属柏病院 緩和ケアチーム/同 精神神経科 小川 佳那
- P2** 急性期病院におけるがん患者への心理士の役割 ～緩和チーム・がん相談支援センターでの活動～  
社会医療法人共愛会 戸畑共立病院 臨床心理室 末次かほり
- P3** 診断1年以内のがん患者における心理社会的問題に関する相談ニーズ：全国インターネット調査  
国立がん研究センター東病院臨床開発センター精神腫瘍学開発分野/北海道医療大学大学院心理科学研究科 庄木 晴美
- P4** 当院のがん領域に携わる臨床心理士の実際-患者本人とのかかわりから-  
国立病院機構 鹿児島医療センター がん相談支援センター 木ノ脇真弓
- P5** 日本人における疾病受容概念の構築～がん患者心理面接による分析  
四国大学 生活科学部 生活科学科 上岡 千世
- P6** "予防的な観点"から、告知後早期より臨床心理士が介入した2症例についての検討  
倉敷中央病院 総合診療科/緩和ケアチーム 今村 隆
- P7** 「治らないがん」から「共に生きるがん」へ～医療者との対話を通して心理的変容が生じた一事例～  
国立病院機構大阪南医療センター がん相談支援センター 金 季実
- P8** 予後告知と患者の心理過程に寄り添った治った一例  
公立那賀病院 看護部 認定室 栗山 文枝
- P9** 治療のつらさに対するとらえ方の変化～心理士が関わった2事例を通しての検討～  
国立病院機構広島西医療センター 緩和ケアチーム 館野 一宏
- P10** 診断直後からの介入が有効であった1例～記憶障害を補う支援～  
松山赤十字病院 心療内科・精神科 小野恵里香
- P11** がん患者に対するマインドフルネス教室の主観的効果について  
慶應義塾大学看護医療学部 朴 順禮
- P12** がん患者への精神的・心理的ケアとしてのライフレビュー・アートセラピーの事例報告  
岡山大学 医学部 客員研究員 長坂 剛夫
- P13** がん患者への精神的・心理的ケアとしてのライフレビュー・アートセラピーの実行可能性  
聖マリア学院大学 看護学部 安藤 満代
- P14** アート・セラピーにおいてメッセージブック作成が終末期患者のQOL向上につながった事例  
聖マリア学院大学看護学部・聖マリア病院研究員 安藤 満代
- P15** 放射線療法後の皮膚粘膜障害による長引く疼痛に対して認知行動療法的な介入が有効であった症例  
長崎大学病院 医療教育開発センター 田中 佑
- P16** 社会的問題解決理論を応用した膵臓がん患者の心理社会的問題と対処法リストの作成  
近畿大学 総合社会学部 塩崎麻里子

- P17** がん患者の心の揺れに対する看護について 胆管癌で適応障害を併発した患者に対して事例検討（一事例より）  
北海道大学病院 消化器内科病棟 横岡 奈央
- P18** 医師向けコミュニケーション・トレーニングを利用した看護師演習 ～2日間で3種のワークショップ～  
久留米大学 医学部 麻酔学講座 佐野 智美
- P19** 周手術期がん患者への精神的介入に向けた取り組み～入院時からの意識的な関わりを目指して～  
岩手県立中央病院 新垣しずか
- P20** 看護師向けコミュニケーションスキルトレーニングの評価のための予備的調査  
杏林大学医学部附属病院 看護部 野田 耕介
- P21** がん患者の「患者力」を高めるサポートプログラムの有用性の検討：S Pで患者が得た肯定的な影響からの考察  
神戸大学医学部附属病院 看護部 久保百合奈
- P22** 乳がんの診断後にうつ病を発症した外来患者への支援 －緩和ケア認定看護師の関わりを通して－  
労働者健康福祉機構 中国労災病院 緩和ケアチーム 上野 ゆか
- P23** 医師の態度は、悲嘆からの救済を遅らせるか  
社会医療法人財団慈泉会 相澤病院 がん集学治療センター 緩和ケア科 野池 輝匡
- P24** がん患者へのスピリチュアルな苦痛に対しての有用なアプローチ方法の探索  
近畿大学医学部内科学腫瘍内科部門心療内科分野 阪本 亮
- P25** 患者本人の希望しないレスパイト入院は是か非か  
兵庫県立柏原病院 内科（緩和ケア病棟） 板倉 崇泰
- P26** 緩和ケアチームに依頼された症例をとおしての精神科啓蒙活動の成果と今後の課題  
順天堂大学医学部附属浦安病院 メンタルクリニック 宮田真美子
- P27** 緩和ケアチームの介入により精神科治療につながった2症例  
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 神経精神科 前泊 味音
- P28** ミルタザピンと「睡眠の質」に関する因子分析  
がん研究会有明病院 緩和治療科 佐伯 吉規
- P29** 緩和ケア病棟のせん妄症状発生に影響する促進因子の実態  
四国がんセンター 緩和ケア病棟 相原 知佳
- P30** 種々の精神医学的問題を呈したTrousseau症候群の一症例－特徴的な病態・経過を念頭に置いた介入の重要性－  
和歌山県立医科大学 神経精神医学教室 大沢 恭子
- P31** 大崎市民病院腫瘍内科での抗うつ剤処方内容の後方視的検討  
大崎市民病院 本院診療部 腫瘍内科 高橋 義和
- P32** 一般的なオピオイドの過量兆候よりも認知機能低下が優位に出現した高齢者の一例  
自治医科大学附属さいたま医療センター 看護部/同 緩和ケアチーム 大西由紀子



- P33** 産業医科大学病院緩和ケアチームにおける精神科介入の現状  
産業医科大学 精神医学教室 得津 由紀
- P34** 総合病院での緩和ケアにおけるメンタルケアの役割と有効性  
昭和大学 医学部 精神医学講座/昭和大学 横浜市北部病院 メンタルケアセンター/  
昭和大学 横浜市北部病院 緩和医療チーム 富岡 大
- P35** 日本の高齢がん患者の問題とQOLとの関係：ウェブ調査  
国立がん研究センター東病院 臨床開発センター 精神腫瘍学開発分野 中野谷貴子
- P36** 外来がん患者の心理的サポートサービスに対する援助要請行動～医療スタッフを対象とした調査より～  
大阪大学大学院 人間科学研究科 臨床死生学・老年行動学 松井 智子
- P37** 婦人科がん患者の家族の精神的苦痛に関する文献レビュー  
群馬県立がんセンター 精神腫瘍科・がん相談支援センター 渡辺 詩織
- P38** がん患者が経験する社会的問題と精神心理的問題  
金沢医科大学 腫瘍内科学/金沢医科大学病院 集学的がん治療センター 久村 和穂
- P39** がん患者が経験する社会的問題に関する評価尺度の開発：信頼性と妥当性および予測要因の解析  
金沢医科大学 腫瘍内科学/金沢医科大学病院 集学的がん治療センター 久村 和穂
- P40** 「がんと就労」～サバイバーナースとして考える～研修会参加者に対するアンケート結果を報告する  
サバイバーナースの会「ぴあナース」/琉球大学医学部附属病院 沖縄県地域統括相談支援センター 上原 弘美
- P41** AYA世代の患者が退院後に抱える困難と日常生活での苦痛度との関連  
早稲田大学大学院 人間科学研究科 石川 愛海
- P42** がんサバイバーの生活背景をもとに治療期を支える 若年大腸がん患者の一例  
山梨県立病院機構山梨県立中央病院 看護部 和田さくら
- P43** がん医療におけるチャイルドサポートに関する医療者教育プログラム  
四国がんセンター 井上 実穂
- P44** 鳥取県におけるピアサポート研修会の現状と課題  
鳥取県立中央病院 がん相談支援センター 藤松 義人
- P45** 当院における婦人科がんサポートグループの現状報告—短期サポートグループ困難な場合の一例—  
一宮市立市民病院 臨床心理室 柄澤 祐可
- P46** がん治療医の葛藤—第2の患者—  
近畿大学医学部附属病院 心療内科 牧村ちひろ
- P47** がん診療に関わる看護師に向けたがん患者の精神心理的苦痛に対応するための教育プログラムの有用性  
名古屋市立大学大学院 医学研究科 精神認知行動医学分野 久保田陽介
- P48** 医師と看護師の死生観とケア態度の比較 ～終末期ケアのチームワーク向上にむけて～  
広島市立病院機構 広島市立安佐市民病院 矢田 和美

- P49** 緩和ケアに携わる医療従事者のためのメンタルヘルスプログラム  
宝塚市立病院 緩和ケアチーム 岡山 幸子
- P50** 医師を看取る時に感じること  
大阪府立急性期・総合医療センター 緩和ケアチーム 高田 宏宗
- P51** 緩和ケア病棟の看護師が患者と家族の期待に応えきれない要因を探る  
労働健康福祉機構福島労災病院 看護部 尾形美貴子
- P52** 誤嚥や窒息の危険があるにも関わらず間食の量が減らない患者に対し葛藤を抱える病棟への関わり  
千葉県がんセンター 片岡明日美
- P53** 終末期看護にリフレクションを取り入れて  
JA長野厚生連篠ノ井総合病院 泌尿器・腎臓内科病棟 吉田真砂子
- P54** 医学生はがん医療における全人的苦痛をどう認識しているか？～3年間の教育結果から～  
高知大学 医学部神経精神科学教室 掛田 恭子
- P55** 薬剤師に対するサイコオンコロジー研修受け入れとその効果  
国立病院機構金沢医療センター 緩和ケアチーム・精神科 小室龍太郎
- P56** 緩和ケア初診外来を受診された家族の心理ストレスの検討  
芦屋市立芦屋病院 緩和ケア内科 竹井 清純
- P57** 緩和ケア病棟入院中のがん終末期患者家族の精神的苦痛は、患者の身体的ケアに参加することにより軽減するか  
JA秋田厚生連 大曲厚生医療センター 緩和ケア病棟 糸井 泉美
- P58** 精神症状を有した両側乳がん患者の治療期を支えた一例 ～家族の心身もサポートする大切さ～  
東大阪市立総合病院 看護局 篠原 智栄
- P59** せん妄に苦しむ夫を支えた遺族へのカウンセリング～語りを通して遺族ケアについて考える  
JA北海道厚生連 旭川厚生病院 総合相談室・緩和ケアチーム 大盛 久史
- P60** 化学療法受療中のがん患者のパートナーにおける精神的苦痛とレジリエンスおよび自身の体験との関係  
東京医科歯科大学大学院 心療・緩和医療学分野 石塚 典子
- P61** 介護期の患者-介護者の関係性変化と死別後に介護者が抱く看取り評価：quasi-quantitative analysis  
東京都健康長寿医療センター研究所 森 寛子
- P62** 在宅で精神症状を呈するがん患者の家族の精神的ストレス –主介護者とキーパーソン–  
小田原市立病院 心身医療科 竹内 文一
- P63** 退院後の小児がん患児の母親ときょうだいにおける 心的外傷後ストレス症状  
早稲田大学 大学院 人間科学研究科 医療心理学・職場メンタルヘルス研究室 長谷川由美
- P64** 配偶者の強い不安から、患者への病状説明に困難をきたした終末期事例  
静岡県立静岡がんセンター 緩和医療科 栂場 美穂

- 
- P65** 外来通院中の膵臓がん患者とその家族の心理状態とその関連性の検討  
神戸大学医学部附属病院 腫瘍センター がん相談室・緩和ケアチーム 酒見 惇子
- P66** プライマリチームが進めるアドバンスケアプランニング（ACP）の実践（2）  
～プロセスがもたらす効果の検討～  
JCHO九州病院 臨床心理室 瀬川 明美
- P67** プライマリチームが進めるアドバンスケアプランニングの実践（ACP）（1）  
～効果的なアプローチのタイミングの検討～  
JCHO九州病院 がんサポートチーム 看護部 進藤 美舟
- P68** がん患者の意思決定における支援のあり方 ～がん看護相談外来からの考察  
日本赤十字社 小野田赤十字病院 白石 幸江
- P69** 術後延命目的の抗がん剤治療を受けないという患者の意思決定支援  
社会医療法人社団 高野会 高野病院 外来 田中 明子
- P70** 肺がん困難事例への意思決定支援におけるMultidisciplinary Teamの効果  
市立室蘭総合病院 鈴木 笑子
- P71** うつ状態の背景に自閉症スペクトラム障害がうたがわれた頭頸部がん患者への対応  
熊本大学医学部付属病院 神経精神科 城野 匡
- P72** フェイススケール導入時の混乱について ～再生不良性貧血の一事例を通して学んだこと～  
大津市民病院 緩和ケア科、精神・心療内科 笹田 侑子
- P73** 催眠を利用した症状緩和が有用であったがん患者の3例  
近畿中央胸部疾患センター 心療内科 松田 能宣
- P74** 外来化学療法を受けながらがんと共に生きるAさんの思い  
厚生連滑川病院 外来化学療法室 長 光代
- P75** 死が近づくにつれ不安が増大し興奮が増した1症例の検討  
公立岩瀬病院 緩和ケアチーム 佐藤 友香
- P76** 終末期の患者、家族の不安・抑うつに再発未告知が関与した症例  
越谷市立病院 緩和ケアチーム 平岡 三枝
- 

**ピアサポート交流会** 《10月3日（金）9:00～17:20》 ポスター会場（1F/展示ホール2）

企画・運営：秋月 伸哉（千葉県がんセンター 精神腫瘍科）  
天野 慎介（一般社団法人グループネクサス・ジャパン）  
高橋 都（国立がん研究センター がんサバイバーシップ支援研究部）

共催：特定非営利活動法人 日本緩和医療学会  
（厚生労働省委託事業オレンジバレーンプロジェクト）

---

**【事前申込制】**

**がんサロン研修会** 《10月4日（土）9:00～12:00》 第5会場（1F/展示ホール1）

共催：公益財団法人日本対がん協会